



第23代
大村市長

挑み続ける。

園田市政、2期目

スタート

「オール大村」の力を結集

このたび多くの市民の皆様から温かいご支援をいただき、第23代大村市長として、引き続き市政を担わせていただくことになりました。改めて、与えられた職責の重さに身が引き締まる思いであり、市政運営に全身全霊をかけて取り組む決意を新たにいたしているところです。

これまでの第1期4年間で、前回の市長選でマニユフェストに掲げていた27項目の施策のうち、およそ9割を達成することができました。

部門や、新庁舎整備に係る財政部門など、12部門36項目を重点的に進めてまいります。この12部門36項目は、県内13市の中で、唯一人口が増加を続けている市として、また、長崎県を牽引するトップランナーとして重要となる施策と考えています。

ご協力があったとのことであり、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。また、残りの1割については、再度、市民の皆様のお声を拝聴しながら整理し、できないことは、内容を修正しながら実施していきたくと考えています。

これからの4年間で、大村市をもっと楽しく、元気な街にしていくために「オール大村」の力を結集し、これらの施策に取り組んでまいりたいと考えています。市民の皆様のご理解をお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

待機児童の解消に係ることも未来部門、国道34号線大村一

諫早間拡幅に係る都市整備部門をはじめ、ボートレース大村の売り上げに係る競艇事業



いま、未来への投資を。



↑ 就任式で職員に対し、「みんなで、10年後、20年後に向けたまちづくりを、いま、やっぴいこう。」とあいさつ。



↑ 当選証書を受け取り、馬場選挙管理委員会委員長からお祝いの言葉を受ける園田市長。



↑ 再選後の初登庁で、市民の皆さんや市の職員に出迎えられた園田市長は、市役所玄関で花束を受け取りました。